## NEC Express5800シリーズ Express5800/120Bb-d6

本製品や添付のソフトウェアの特長、導入の際に知っておいていただきたい事柄について説明 します。また、セットアップの際の手順を説明しています。ここで説明する内容をよく読ん で、正しくセットアップしてください。

#### 「特 長」(2ページ)

本製品の特長や添付(または別売品)のソフトウェア、および各種オプション とソフトウェアの組み合わせによって実現できるシステム管理のための機能に ついて説明しています。

#### 「導入にあたって」(8ページ)

システムを構築する際に知っておいていただきたい事柄や、参考となるアドバイスが記載されています。

#### 「お客様登録」(12ページ)

お客様登録の方法について説明しています。Express5800シリーズ製品に関するさまざまな情報を入手できます。ぜひ登録してください。

#### 「セットアップを始める前に」(13ページ)

セットアップの順序を説明します。お使いになるオペレーティングシステムや 購入時の本体によってもセットアップの方法は異なります。

#### [Windows Server 2003のセットアップ](16ページ)

ハードディスクドライブにWindows Server 2003 x64 Editions、Windows Server 2003をインストールする手順について説明しています。再インストールの際にも参照してください。

#### 「応用セットアップ」(49ページ)

システムの環境やインストールするオペレーティングシステムによっては、特殊な手順でセットアップしなければならない場合があります。必要に応じて参照してください。

### 「管理用リモートデスクトップについて」(54ページ)

管理用リモートデスクトップの設定について説明します。

### 「FibreChannelコントローラ(N8403-018)ご使用時の注意事項」(55ページ)

FibreChannelコントローラ(N8403-018)ご使用時の注意事項ついて説明します。

特長

お買い求めになられた本製品の特長を次に示します。

## 高性能

- 高速プロセッサ (デュアルコア インテル<sup>®</sup> Xeon<sup>®</sup> プロセッサー,
- クアッドコア インテル<sup>®</sup> Xeon<sup>®</sup> プロセッサー)
- DDR2-667 SDRAM FB-DIMM
- 高速1000BASE-Tインタフェース(1Gbps対応)x2





- メモリ監視機能
- (コレクタブルエラー訂正/アンコレクタブルエラー検出)
   メモリの強制使用(起動)機能
- CPU縮退機能
- (障害を起こしたデバイスの論理的な切り離し)
- バスパリティエラー検出
- 温度検知
- 異常通知
- 内部電圧監視機能
- BIOSパスワード機能
- オートリビルド機能(ホットスワップ対応)

## 管理機能

- ESMPROプロダクト
- DianaScope
- 本体遠隔監視機能(EXPRESSSCOPEエンジン)

## 保 <mark>守機能</mark>

- オフライン保守ユーティリティ
- DUMPスイッチによるメモリダンプ機能

### 便 利なセットアップ ユーティリティ

- EXPRESSBUILDER (システムセットアップユーティリティ)
- ExpressPicnic (パラメータファイル作成ユーティリティ)
- SETUP (BIOSセットアップユーティリティ)

### 拡 張性

- オプションスロットを装備し、
- 拡張スロットオプションカードを利用可能 ● 最大48GBの大容量メモリ
- 最大2マルチプロセッサまでアップグレード可能
- ネットワークポートを2チャネル標準装備
- USB 2.0 (2ポート)対応

## 豊富な機能搭載

- ソフトウェアPower Off
- リモートパワーオン機能
- ACリンク機能



- Power On Self-Test (POST)
- システム診断ユーティリティ

# ブレードサーバとは

ますます多様化するインターネット分野において、「わずかな設置スペースで数多くのサーバ を運用したい」という要望は、システム管理者として必ず持っているはずです。 どんなに筐体(ケース)のサイズを小さくしても、1つのケースに1台分のサーバ機能しか持っ ていなければ、増設のたびに設置スペースは増していきます。また、電源の工事や収納用ラッ クの購入など必要以上の予算が発生することもあります。

「Express5800/BladeSeverシリーズ」は、サーバ機能を必要最低限まで絞り込み、1枚のボード(CPUブレード)に凝縮した、省スペース・集約型サーバです。



CPUブレードおよびCPUブレードに接続されるハードディスクドライブは、ワンタッチで取り付けることができ、電源やケーブルの配線・接続の必要はありません。

また、サーバ機能を搭載したCPUブレードには、オプションでプロセッサやメモリ、PCIオプ ションカードなどを搭載することができます。

# サーバ管理について

本装置は、高い信頼性を確保するためのさまざまな機能を提供しています。

各種リソースの冗長化などといったハードウェア本体が提供する機能と、サーバ本体に添付されているESMPROなどのソフトウェアが提供する監視機能との連携により、システムの障害を未然に防止または早期に復旧することができます。

また、停電などの電源障害からサーバを守る無停電電源装置などの各種オプション製品により、さらなる信頼性を確保することができます。

各機能はそれぞれ以下のハードウェア、およびソフトウェアにより実現しています。

管理分野	必要なハードウェア	必要なソフトウェア
サーバ管理	サーバ本体機能	ESMPRO/ServerManager ESMPRO/ServerAgent
ストレージ管理 (ディスク管理)	ハードディスクドライブ	ESMPRO/ServerManager ESMPRO/ServerAgent Windows 標準のソフトミラーツール
無停電電源装置管理	無停電電源装置(UPS) <sup>*</sup> Web/SNMP Management Card <sup>*</sup>	ESMPRO/AutomaticRunning Controller 製品群 *
ネットワーク管理	ブレード用メザニンカード	WebSAM/Netvisor*
リモート管理	本体標準装備のEXPRESSSCOPE エン ジン	ESMPRO/ServerManager ESMPRO/ServerAgent DianaScope

\* オプション製品

### サーバ管理

CPUブレード上には標準でシステム監視チップを搭載しており、サーバに内蔵されている以下の各種リソースを監視します。これらのハードウェア機能とシステム管理用ソフトウェア 「ESMPRO/ServerManager」、「ESMPRO/ServerAgent」が連携し、サーバの稼動状況など を監視するとともに万一の障害発生時にはただちに管理者へ通報します。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした場合、データビューアの項目ごとの機能可否は 下記の表のとおりです。

また、DianaScopeにより、サーバ上でオペレーティングシステムが稼動していない状態でのリモート操作/保守を管理PCから行ったり、リモートパワーオン機能により、リモートのPC上からCPUプレードの電源をONにすることができます。

 ESMPRO/ServerManagerやESMPRO/ServerAgent、DianaScopeは標準で添付 されています。
 各ソフトウェアのインストール方法や使用方法は、各ソフトウェアの説明を参照してください。

機能	名	可否	機能概要
ハードウェア		0	ハードウェアの物理的な情報を表示する機能です。
	メモリバンク	0	メモリの物理的な情報を表示する機能です。
	装置情報	0	装置固有の情報を表示する機能です。
	CPU	0	CPUの物理的な情報を表示する機能です。
システム		0	CPUの論理情報参照や負荷率の監視をする機能です。 メモリの論理情報参照や状態監視をする機能です。
1/0 デバイス		0	I/Oデバイス(フロッピーディスクドライブ、シリアル ポート、パラレルポート、キーボード、マウス、ビデオ) の情報参照をする機能です。
システム環境		$\bigtriangleup$	温度、ファン、電圧、電源、ドアなどを監視する機能です。
	温度	0	筐体内部の温度を監視する機能です。
	ファン	×	ファンを監視する機能です。
	電圧	0	筐体内部の電圧を監視する機能です。
	電源		電源ユニットを監視する機能です。
	ドア	×	Chassis Intrusion(筐体のカバー / ドアの開閉)を監視す る機能です。
ソフトウェア		0	サービス、ドライバ、OS の情報を参照する機能です。
ネットワーク		0	ネットワーク(LAN)に関する情報参照やパケット監視を する機能です。
拡張バスデバイス		×	拡張パスデバイスの情報を参照する機能です。
BIOS		0	BIOSの情報を参照する機能です。
ローカルポーリング		0	ESMPRO/ServerAgent が取得する任意の MIB 項目の値 を監視する機能です。
ストレージ		0	ハードディスクドライブなどのストレージ機器やコント ローラを監視する機能です。
ファイルシステム		0	ファイルシステム構成の参照や使用率監視をする機能です。
ディスクアレイ		0	LSI 社製ディスクアレイコントローラ (N8103-73A/80/ 81) および、Promise 社製ディスクアレイコントローラを 監視する機能です。
			* 上記ディスクアレイコントローラをサポートしていない 本体装置の場合、ディスクアレイの情報はデータビュー アには表示しません。
その他		0	ウォッチドッグタイマによる OS ストール監視ををする機 能です。
		0	OS STOP エラー発生後の通報処理を行う機能です。

○:サポート △:一部サポート X: 未サポート

### 筐体センサの監視について

ブレード収納ユニット(SIGMABLADE)に実装されるファン・電源はEMカードにより監視され ます。EMカードが監視する情報は、ESMPRO/ServerManagerのエンクロージャビューアで 確認できます。

ESMPRO/ServerManagerのデータビューアの[ESMPRO] - [システム環境] - [電源]はCPU ブレードの電源回路の状態を表示しています。

#### 無停電電源装置管理

商用電源のトラブルは、サーバを停止させる大きな原因のひとつです。 停電や瞬断に加え、電圧低下、過負荷配電、電力設備の故障などがシステムダウンの要因とな る場合があります。 無停電電源装置(UPS)は、停電や瞬断で通常使用している商用電源の電圧が低下し始めると、 自動的にバッテリから電源を供給し、システムの停止を防ぎます。システム管理者は、その間 にファイルの保存など、必要な処理を行うことができます。さらに電圧や電流の変動を抑え、 電源装置の寿命を延ばして平均故障間隔(MTBF)の延長にも貢献します。また、スケジュール 等によるサーバの自動・無人運転を実現することもできます。 ブレードサーバでは、APC社製UPSをサポートしています。 APC社製UPSの制御・管理は、UPSにWeb/SNMP Management Cardを装着し、ESMPRO/ AutomaticRunningController製品群がネットワーク経由にて行います。

電源は、オプションの増設電源ユニットにより電源の冗長構成を構築することができます。

### ネットワーク管理

ESMPRO/ServerManagerおよびESMPRO/ServerAgentを使用することにより、CPUブレードに内蔵されているLANポートの障害や、回線の負荷率等を監視することができます。 また、別売のWebSAM/Netvisorを利用することにより、ネットワーク全体の管理を行うことができます。

### リモート管理

本体標準装備のEXPRESSSCOPEエンジンとEXPRESSBUILDER に収められているアプリ ケーション「DianaScope」を使用することにより、LAN/WANを介した本体のリモート監視 や管理をすることができます。EXPRESSSCOPEエンジンが提供する管理機能は以下のとお りです。

- 温度/電圧の監視
- ハードウェア障害のシステムイベントログ(SEL)生成機能
- ウォッチドッグタイマによるOSストール監視
- OSストップエラー発生後の通報処理
- Webブラウザを使用したリモート制御(本体装置のリセット、電源ON/OFF、システム イベントログ(SEL)の確認など)
- リモートKVM機能、リモートデバイス機能
- DianaScopeによるLAN/WAN経由でのリモート制御、複数台装置の集中管理

Webブラウザを使用したリモート制御やリモートKVM機能、リモートデバイス機能について はEXPRESSBUILDER内の「EXPRESSSCOPEエンジンユーザーズガイド」を参照してくだ さい。

以後、本書ではEXPRESSSCOPEエンジンのことをBMC(Baseboard Management Controller) と記載します。

# 導入にあたって

本装置を導入するにあたって重要なポイントについて説明します。

### システム構築のポイント

実際にセットアップを始める前に、以下の点を考慮してシステムを構築してください。

装置に標準添付の「ESMPRO/ServerManager」、「ESMPRO/ServerAgent」を利用すること により、リモートからサーバの稼動状況や障害の監視を行い、障害を事前に防ぐことや万一の 場合に迅速に対応することができます。

運用の際は、「ESMPRO/ServerManager」、「ESMPRO/ServerAgent」を利用して、万一の トラブルからシステムを守るよう心がけてください。



なお、本装置に障害が発生した際に、NECフィールディング(株)がアラート通報を受信して 保守を行う「エクスプレス通報サービス」を利用すれば、低コストでExpress5800シリーズ の障害監視・保守を行うことができます。

「エクスプレス通報サービス」を利用することもご検討ください。

### システムの構築・運用にあたっての留意点

システムを構築・運用する前に、次の点について確認してください。

### セットアップの手順を確認しましょう

システムを構築するにあたり、「セットアップ」は必要不可欠なポイントです。

セットアップを始める前にセットアップをどのような順序で進めるべきか十分に検討してく ださい。

必要のない手順を含めたり、必要な手順を省いたりすると、システムの構築スケジュールを狂わせるばかりでなく、本装置が提供するシステム全体の安定した運用と機能を十分に発揮できなくなります。

#### ● <その1> 運用方針と障害対策の検討

ブレードサーバのハードウェアが提供する機能や採用するオペレーティングシステムに よって運用方針やセキュリティ、障害への対策方法が異なります。

「特長 (2ページ)」に示すブレードサーバが提供する機能を十分に利用したシステムを構築できるよう検討してください。

また、システムの構築にあたり、ご契約の保守サービス会社および弊社営業担当にご相 談されることもひとつの手だてです。

#### ● <その2> ハードウェアのセットアップ

ブレードサーバの電源をONにできるまでのセットアップを確実に行います。この後の 「システムのセットアップ」を始めるために運用時と同じ状態にセットアップしてください。詳しくは、15ページに示す手順に従ってください。

ハードウェアのセットアップには、オプションの取り付けや設置、周辺機器の接続に加 えて、内部的なパラメータのセットアップも含まれます。ご使用になる環境に合わせた パラメータの設定はオペレーティングシステムや管理用ソフトウェアと連携した機能を 利用するために大切な手順のひとつです。

#### ● <その3> システムのセットアップ

オプションの取り付けやBIOSの設定といったハードウェアのセットアップが終わった ら、ハードディスクドライブのパーティションの設定やRAIDシステムの設定、オペレー ティングシステムや管理用ソフトウェアのインストールに進みます。

#### <初めてのセットアップの場合(Windows)>

初めてのセットアップでは、お客様が注文の際に指定されたインストールの状態によってセットアップの方法が異なります。

- 「カスタムインストール」を指定して購入された場合

本装置の電源をONにすれば自動的にセットアップが始まります。セットアップの途中で表示される画面のメッセージに従って必要事項を入力していけばセットアップ は完了します。

- 「未インストール」にて購入された場合

「未インストールからのセットアップ・再セットアップの場合」に示す手順に従って ください。

### <未インストールからのセットアップ・再セットアップの場合(Windows)>

本装置で未インストールからのセットアップ・再セットアップをサポートしているOS (Windows)は次の通りです。

- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>TM</sup> 2003 R2, Standard x64 Edition 日本語版 (以降、「Windows Server 2003 x64 Editions」と呼ぶ)
- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>TM</sup> 2003 R2, Enterprise x64 Edition 日本語版 (以降、「Windows Server 2003 x64 Editions」と呼ぶ)
- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>TM</sup> 2003 R2, Standard Edition 日本語版 (以降、「Windows Server 2003」と呼ぶ)
- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>TM</sup> 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版 (以降、「Windows Server 2003」と呼ぶ)

未インストールからのセットアップ・再セットアップでは、インストールするOSによっ て異なります。

### <Windows Server 2003 x64 Editions をインストールする場合>

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Windows Server 2003 x64 Editions インストレーションサプリメントガイド」を参照し、「ロー カルインストール」を行ってください。

### <Windows Server 2003 をインストールする場合>

本書の16ページを参照し「シームレスセットアップ」を行うか、添付の「EXPRESSBUILDER」 DVDに格納されているオンラインドキュメント「Windows Server 2003 インストレーショ ンサプリメントガイド」を参照し、「ローカルインストール」を行ってください。

Windows Server 2003 x64 Editionsではシームレスセットアップは使用できません。「Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition/Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Editionインストレーションサプリメントガイド」を参照し、「ローカルインストール」を使用してください。

### ● <その4> 障害処理のためのセットアップ(Windows)

障害が起きたときにすぐに原因の見極めや解決ができるよう障害処理のためのセット アップをしてください。

### ● <その5> 管理用ソフトウェアのインストールとセットアップ(Windows)

出荷時にインストール済みの管理用ソフトウェアやマニュアルでインストールしたソフトウェアをお使いになる環境にあった状態にセットアップします。また、ブレードサーバと同じネットワーク上にある管理PCにインストールし、ブレードサーバを管理・監視できるソフトウェアもあります。併せてインストールしてください。 詳しくは「ソフトウェア編」をご覧ください。

### ● <その6> システム情報のバックアップ

「オフライン保守ユーティリティ」を使ってCPUブレード上にある設定情報のバックアッ プを作成します。ブレードサーバの故障などによるパーツ交換後に以前と同じ状態に セットアップするために大切な手順です。 詳しくは48ページをご覧ください。

### 各運用管理機能を利用するにあたって

ブレードサーバで障害監視などの運用管理を行うには、ブレードサーバに添付された ESMPRO/ServerAgent、およびESMPRO/ServerManager、または別売の同ソフトウェアが 必要となります。

この後で説明するセットアップ手順、またはソフトウェアの説明書(別売の場合)に従って各 ソフトウェアのインストール、および必要な設定を行ってください。

各運用管理機能を利用する際には、以下の点にご注意ください。

#### ● サーバ管理機能を利用するにあたって

- CPUやメモリを交換した場合やCPU縮退機能(マルチプロセッサモデルの場合) を利用する場合は、BIOSのコンフィグレーションが必要です。「システムBIOS (97ページ)」を参照して「Processor Settings」や「Memory Configuration」、 「Advanced」の各項目を設定してください。
- サーバの各コンポーネント(CPU/メモリ/ディスク/ファン)の使用状況の監視や オペレーティングシステムのストール監視など、監視項目によってはESMPRO/ ServerManager、ESMPRO/ServerAgentでしきい値などの設定が必要になりま す。詳細は、各ソフトウェアに関する説明やオンラインヘルプなどを参照してくだ さい。

#### ● ストレージ管理機能を利用するにあたって(ディスクアレイシステムを使用する場合)

ディスクアレイシステムの管理を行うには、ESMPRO/ServerAgentに加えて次のソフトウェアが必要です。

 オプション製品であるディスクアレイコントローラを利用する場合は、オプション に添付の説明書を参照してそれぞれの管理ソフトウェアをインストールしてください。

ディスク稼働率や予防保守性を高めるために、ディスクアレイシステムを構築する際は、 定期的にディスクアレイシステムの整合性をチェックしてください。

● 無停電電源装置管理機能を利用するにあたって

 無停電電源装置(UPS)を利用するには、APC社製UPSにWeb/SNMP Management Cardの装着が必要です。

制御用ソフトウェアにはESMPRO/AutomaticRunningController製品群が必要です。

 無停電電源装置を利用する場合、自動運転や停電回復時のサーバの自動起動などを 行うにはBIOSの設定が必要です。「システムBIOS(97ページ)」を参照して、 「System Hardware」メニューにある「AC-LINK」の設定をご使用になる環境に 合った設定に変更してください。



NECでは、製品ご購入のお客様に「NEC ビジネスPC/PCサーバお客様登録サービス」への 登録をお勧めしております。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送 いただくか、次のWebサイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービス などを無料で受けることができます。

http://club.express.nec.co.jp/

にてご登録ください。

NEC EジネスPG/PGサー	バ お客様登録 - Microsoft Internet Explorer 💦 💽 🔀		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V	) お気に入り(色) ツール(① ヘルプ(色) 🥂		
NEC ビジネスPC/PCサーバ お客様登録	NEC ビジネスPC/PCサーバ お客様登録		
購入品一覧 サポート情報(9番(前) 8番街トップページ	NEC PC サーバ(Express5800シリーズ)、ビジネスPC(Mate&VersaPro)をご購入いただき誠にありがとうこさいます。 8番桁では、お客様への新製品のご案内や購入製品の効果的なご利用をサポートするためにお客様登録サービスを実施 しております。		
会員登録 ・お客様登録内容変更 ・メール配信設定	いていかみか。 登録教育業料にてご購入いただいた製品をご登録いただけますので、ぜひお申し込みください。 WWLESTRE LAWの後諾登録につきしてはIntervalにであります。LBLをLTX(と思い		
Furner = E0002 d L = =7	ご登録いただくと、次の特典サービスを提供いたします。		
Expressoau0000-人 (Club Express) ·新規購入品登録 ·别是特部指令	= Express5800シリーズを購入品登録いただいた方には・・・		
ビジネスPC (Mate&VersaPro) ・新規購入品登録	Webテクニカル価格なわせサービス Expressionのレーンに調査を基本的なテクニカル間に含わせいされないたします。 なお、お洗い合わせのが熱いごさましては一部部期がございます。詳しくはござかをご覧ください。 エクススールス連載サービーズ運動化・デー電型		
一製品情報検索	「エクスプレス通帰サービスルにご加入いただいでいる場合、対象製品の通網ルポートをリアルタイムにご確認いただけます。エクスプレス通 戦サービスにつきましては <u>ごちら(PDF)</u> をご覧(ださい)。		
お客様登録ガイド ● <u>お客様登録概要</u> ・新規ユーザ登録	ビジネスPO(Mate&VersaPro)を購入登録いただいた方には・・・		
<ul> <li>□グイン</li> <li>・請入品登録</li> <li>●請入品登録情報一覧</li> </ul>	ビジネスPO購入者向けスール配合サービス ご購入いただいたPOを大り効果のここ利用能へための情報やサポート情報などを、メール配信いたします。詳しいは <u>こちら</u> をご覧ください。		
<ul> <li>●<u>テクニカル間、合わせ</u></li> <li>●エクスプレス通報サービス</li> </ul>	会員登録だけでも・・・		
<ul> <li>         ・登録申込み 確認についた         ・通照状況確認         ・         ・         ・</li></ul>	メール配信サービス ご購入品を持ちご登録いただかなくても、Express68005パーズ、ビジネスPOの最新情報を提供するF8番組メールルを配信いたします。		
・会員規約・個人情報保護ポリシー	「新規登録・ログイン		
	新規会員登録の方↓ 会員登録満みの方↓		

「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上 で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Express のインターネットホームページにて紹介しております。是非、ご覧ください。

# セットアップを始める前に

セットアップの順序と参照するページを説明します。セットアップはハードウェアから始めます。



# EXPRESSBUILDER がサポートしているサービスパック

本体に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDでは、以下のOSインストールメディアおよびサー ビスパックの組み合わせをサポートしています。

- Windows Server 2003 R2 x64 Edition
  - OSインストールメディア(Service Pack 無し)
- Windows Server 2003 R2
  - OSインストールメディア(Service Pack 無し)

# EXPRESSBUILDERがサポートしている大容量記憶装置コントローラ

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDでサポートしているオプションボードは、以下になりま す。もし、下記以外のオプションボードを接続するときは、オプションボード添付のマニュア ルと「応用セットアップ」(49ページ)を参照してセットアップしてください。

- EXPRESSBUILDERにてOSのインストールをサポートしているボード
  - N8403-018 FibreChannelコントローラ

# ハードウェアのセットアップ

次の順序でハードウェアをセットアップします。

- 1. ラックを設置する。(ラックに添付の説明書を参照)
- 2. 別途購入したオプションをブレード収納ユニットに取り付ける。(ブレード収納ユ ニットユーザーズガイドを参照)
- 3. オプションのブレード収納ユニットをラックに取り付ける。(ブレード収納ユニットユーザーズガイドを参照)
- 4. CPUブレードにオプションのメモリ (DIMM)を取り付ける。(→88ページ)。
- 5. ブレード収納ユニットにCPUブレードを取り付ける。
- 6. 添付の電源コードをブレード収納ユニットと電源コンセントに接続する。(ブレー ド収納ユニットユーザーズガイドを参照)
- ハードウェアの構成やシステムの用途に応じてBIOSの設定を変更する。
   97ページを参照してください。また、システム日時や時刻の調整も忘れずに行ってください。

引き続き、オペレーティングシステムのセットアップへ進んでください。

# オペレーティングシステムのセットアップ

ハードウェアのセットアップを完了したら、お使いになるオペレーティングシステムに合わせ て後述の説明を参照してください。 再インストールの際にも参照してください。



# Windows Server 2003のセットアップ

# シームレスセットアップ

EXPRESSBUILDERの「シームレスセットアップ」機能を使ってセットアップします。

本機能は、本体に接続された RAIDコントローラを自動認識してRAIDシステムを構築しますので、あらかじめ、「ハードウェアのセットアップ」(14ページ)」の設定を完了させておいてください。

Step	トップ メニュー III	
x=1-8	躍動して、「大へ」ボタンを押してください。	
・RAID構 ・作業を約	簡やOSをインストールする場合は、『シームレスセットアップを実行する トアする場合は、FEXPRESSBUILDERを終了するJを選択してください。	」を選択してください。
	<ul> <li>シームレスセットアップを実行する。</li> </ul>	
	C Windows用 OEM-Diskを作成する	
	C EXPRESSBUILDERICドライバゼロードする C EXPRESSBUILDERICドライバゼロードする	
	•	
	C EXPRESSBUILDER 200 743	

■● シームレスセットアップでは、設定によってはハードディスクの内容を削除し 重要 ます。入力するパラメータにご注意ください。特に、以下の設定時には注意が 必要です。

- Step 4 「RAIDの設定」
- Step 5 「メディアとパーティションの設定」

必要に応じユーザーデータのバックアップを取ることを推奨します。



本装置に添付のEXPRESSBUILDERに対応していないRAIDコントローラや SCSIボードなどの大容量記憶装置コントローラを搭載し、システムディスクと して使用するハードディスクドライブを接続している場合は、後述の「応用 セットアップ」も併せて参照してください。



シームレスセットアップでは、あらかじめ作成したパラメータファイルを 使用したり、セットアップ中に設定したパラメータをパラメータファイル としてフロッピーディスク(別途1.44MBフォーマット済み空きフロッピー ディスクをお客様でご用意ください)に保存することができます。フロッ ピーディスクをご使用の場合は、別途USBフロッピーディスクドライブを ご用意ください。

- パラメータファイルは、EXPRESSBUILDERにある「ExpressPicnic<sup>®</sup>」を 使って事前に作成しておくことができます。
- ExpressPicnicを使ったパラメータファイルの作成方法については、134 ページを参照してください。

### セットアップ前の確認事項について

シームレスセットアップを始める前に、ここで説明する注意事項について確認しておいてください。

### Windowsファミリについて

Windows Server 2003ファミリのうち、シームレスセットアップでインストール可能なエ ディションは次のとおりです。サービスパックについては、「EXPRESSBUILDER がサポート しているサービスパック」(13ページ)を参照してください。

- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>™</sup> 2003 R2, Standard Edition 日本語版
- Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>TM</sup> 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版

以降「Windows Server 2003」と呼びます。

上記以外のエディションをインストールしたいときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

Windows Server 2003 x64 Editions では、シームレスセットアップを使 用できません。再セットアップする場合は、「Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Microsoft Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition インストレーションサプリメントガイド」を参 照し、「ローカルインストール」を使用してください。

### BIOSの設定について

Windows Server 2003をインストールする前にハードウェアのBIOS設定などを確認してください。97ページを参照して設定してください。

### 注意すべきハードウェア構成について

Windows Server 2003をシームレスセットアップでインストールするとき、次のようなハードウェア構成においては特殊な手順が必要となります。

### ミラー化されているボリュームへの再インストールについて

[ディスクの管理]を使用してミラー化されているボリュームに再インストールする場合 は、インストールの実行前にミラー化を無効にして、ベーシックディスクに戻し、イン ストール完了後に再度ミラー化してください。

ミラーボリュームの作成あるいはミラーボリュームの解除および削除は[コンピュータの 管理]内の[ディスクの管理]から行えます。

### MO装置の接続について

Windows Server 2003をインストールするときにMO装置を接続したまま作業を行う と、インストールに失敗することがあります。ファイルシステムが正しく変換されなかっ た場合は、MO装置を外してインストールを最初からやり直してください。

### DAT等のメディアについて

シームレスセットアップでは、DAT等のインストールに不要なメディアはセットしない でください。

#### ● 複数台のハードディスクドライブ(論理ドライブ)の接続について

Windowsシステムをインストールしようとするハードディスクドライブのほかに別の ハードディスクドライブを接続する場合は、Windowsをインストールした後に接続して ください。また、論理ドライブが複数存在するシステムへの再セットアップについては、 「論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順」(51ページ)を参照してくだ さい。

 ダイナミックディスクへアップグレードしたハードディスクドライブへの再インストー ルについて

ダイナミックディスクへアップグレードした場合、既存のパーティションを残したまま での再インストールはできません。この場合、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されて いる「Windows Server 2003インストレーションサプリメントガイド」を参照してセッ トアップしてください。

### システムパーティションのサイズについて

Windowsシステムをインストールするために必要なパーティションのサイズは、次の計算式 から求めることができます。

インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ + ダンプファイルサイズ + アプリケーションサイズ

インストールに必要なサイズ	= 3500MB(Windows Server 2003 R2
ページングファイルサイズ(推奨)	= 搭載メモリサイズ× 1.5
ダンプファイルサイズ	= 搭載メモリサイズ+ 12MB
アプリケーションサイズ	= 任意

上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のための推奨サイズです。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズを持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
 1つのパーティションに設定できるページングファイルサイズは最大で4095MBです。搭載メモリサイズ×1.5倍のサイズが4095MBを超える場合は、4095MBで設定してください。
 搭載メモリサイズが2GB以上の場合のダンプファイルサイズの最大は「2048MB+12MB」です。
 その他アプリケーションなどをインストールする場合は、別途そのアプリケーションが必要とするディスク容量を追加してください。

例えば、搭載メモリサイズが512MBの場合、パーティションサイズは、前述の計算方法から

3500MB + (512MB × 1.5) + 512MB + 12MB + アプリケーションサイズ = 4792MB + アプリケーションサイズ

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ+ ペー ジングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを 増設してください。ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスク に割り当てることで解決できます。

- 1. 「インストールに必要なサイズ + ページングファイルサイズ」を設定する。
- 2. 「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。

ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合は「インストールに必要な サイズ + ページングファイルサイズ」でインストール後、新しいディスクを増設してください。

シームレスセットアップでインストールする場合、必要最小限のパーティションサイズを「上記の必要最小限のパーティションサイズ+850MB」または「4095MB」のうち、どちらか大きい値に設定してください。

### サービスパックの適用について

- Windows Server 2003 R2 をインストールする場合は、Service Pack 1を適用す る必要はありません。
- Service Pack 2 (CD-ROM) を使用しサービスパックを適用する場合は、装置に添付の「NEC Express5800シリーズ Windows<sup>®</sup> Sever 2003 RUR CD-ROM」を使用し適用してください。
- 本装置に添付されているサービスパック以降のサービスパックを使用する場合は、下記 サイトより詳細情報を確かめた上で使用してください。

[NEC 8番街] http://nec8.com/

### セットアップの流れ

シームレスセットアップの流れを図に示します。



### セットアップの手順

シームレスセットアップでは、ウィザード形式により各パラメータを設定していきます。この とき、各パラメータを一つのファイル(パラメータファイル)としてフロッピーディスクへ保 存することも可能です。



- 1. 周辺装置、本装置の順に電源をONにする。
- 2. 本装置の光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
- DVDをセットしたら、リセットする(<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す) か、電源をOFF/ONして本装置を再起動する。

DVDからEXPRESSBUILDERが起動します。

以下のメッセージが表示されたら、「OS installation \*\*\* default \*\*\*」を選択してく ださい(何もキー入力がない場合でも、自動的に手順4の画面へ進みます)。



4. [シームレスセットアップを実行する]を選択し、[次へ]をクリックする。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step	
メニューを選択して、「次へ」ボタンを押してください。 ・RAID場話やOSをインストールする場合は、「シームレスセットアップを実行する」を選択し ・作業を終了する場合は、「EXCPRESSBUILDERを終了する」を選択してください。	JTKE81%
で シームレスセットアップを実行する	
C Window別のEM-Dukを作款する C RAIDのコンフィグレーション情報をセーブロードする C EXPRESSUILLERにドライバゼロードする	
C expresseullderess 775	
©#^	
	Version 5 XX-XXX XX

5. パラメータをロードする。

[パラメータのロード]画面が表示されます。

NEC		EXPRESSBL	JILDER
Step			
パラメータをロードす パラメータをファイルの パラメータをロードし ※フロッピーディスク	も場合は、バラメータの入った バスを入力してください。 はい場合は、「バラメータをロー ドライブが撮続されていないせ	200巻ドライブへセットして、り、ラメータをロードする」を選択し、 ードしないしを選択してください。 身合はむいラメータをロードしないり を選択してください。	
e C	パラメータをロードしない パラメータをロードする:	29.50 	
<b>戻る</b> 〇	©æ^	(1) スキップする	

[パラメータファイルを使用しない場合]

「パラメータをロードしない」を選択して、[次へ]をクリックする。



[パラメータファイルを使用する場合]

「パラメータをロードする」を選択し、パラメータファイルのパスをボックスへ入力 する。この後、各ウィザードにてファイルからロードされたパラメータを確認する 場合は[次へ]を、確認しないでそのままインストールする場合は[スキップする]をク リックする。



[次へ]をクリック→手順6へ

[スキップする]をクリック→手順 15へ

#### 6. インストールするOSを選択する。

[Windows(32bitエディション)をインストールする]を選択して、[次へ]をクリック してください。

NEC	EXPRESSBUILDER
	ADØ Xæ <b>4 II</b>
インストールするのを選択してください。 「上記に以外のの5をインストールする」を選択すると、BAID構築のみ実施して於了 ー	でします。
○ 上記以外のの5をインストールする	
<b>戻る</b> 〇 次へ ① TOP-	~ Version 5 XX.XXX XX

### 7. RAIDの設定をする。

[RAIDの設定]画面が表示されます。設定内容を確認し、必要なら修正を行ってから [次へ]をクリックしてください。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step メニュー … パラメータ 05の選択	
倫理ドライブを作成します。 和ロロントローラを使用していない場合、あよび、すでに作成されてい い。 なお、倫理ドライブの作成コよ、同型者の物理デバイスしか使用でき	いる繰遅ドライブを使用する場合は、スキップを違訳し、次へ進んでくださ なません。
◎ 論理ドライブの作成をスキップする	
<ul> <li>C パロ設定 (論理トライラをTEbX 9 Q(論理トライラの成件の) RAIDコントローラ</li> </ul>	端吉、デイスクNU/デーS1よりへ Ci自去されます)
接続されている全物理デバイスの台散	
論理ドライブを作成する物理デバイスの台数	1
RAIDL	21 mm
ホットスペアに指定される物理デバイスの台数	
使用しない物理デバイスの台散	:
R6 🔿 🔿 X^	TOPへ アフォルトへ戻す



論理ドライブの作成には同型番の物理ディスクしか使用できません。

正常に終了しない場合は、EXPRESSBUILDER内にドライバが収録されていない可能性が有ります。「セットアップを始める前に(13ページ)」をご参照願います。

### 8. メディアとパーティションの設定をする。

[メディアとパーティションの設定]画面が表示されます。 設定内容を確認し、必要なら修正を行ってから[次へ]をクリックしてください。



<b>★</b> ● 重要	•	<ul> <li>パーティションサイン</li> <li>OSをインストーズを指定してく</li> <li>接続されているい。</li> <li>RAID構成で2,できません。</li> </ul>	ズについて ールするパーティショ ださい。(18ページ かードディスク以上の 097,152MB(2TB)	ロンは、必要最小限以 参照) の容量は指定しないで 以上のパーティション	上のサイ ごくださ ンは作成
	•	「Windows システム たとき、ディスクのP	、ドライブの設定」で 内容はすべてクリアさ	「新規に作成する」な れますのでご注意く	₹選択し ださい。
<ul> <li>「Windows システムドライブ 用する」を選択すると、最初の れ、すべてなくなります。それ ます。下図は、情報が削除され</li> </ul>		、ドライブの設定」で と、最初のパーティシ ます。それ以外のパー が削除されるパーティ	「既存のパーティショ ションの情報はフォー ・ティションの情報は ・ションを示していま	ョンを使 マットさ 保持され す。	
		第1パーティション 削除	第2パーティション 保持	第3パーティション 保持	
	•	ダイナミックディス2 既存のパーティション ん(18ページ参照)。 パーティションを使用	クヘアップグレードし ンを残したまま再イン 」「Windows システ」 目する」を選択しない	・たハードディスクド マストールすることは ムドライブの設定して いでください。	ライブの できませ で「既存

9. 基本情報の設定をする。

[基本情報の設定]画面が表示されます。 ユーザー情報を入力して[次へ]をクリックしてください。

NEC			EXPRESSBUILDER
Step		報 3 ··· 日 RAIDの 数定 4 ···	メディアと パーディジョン の設定
ユーザー情報な コンピュータ名は 使用者名/会社	どの基本設定を入力してください。 、15文字以下で設定してください(他のコンピュ 名は、50文字以下(金角では25文字)で設定し	ータ名、ドメイン/ワークヴル Cください。	ッーブ名との重掴す不可)。
	- ユーザ情報 コンピュータ名 体界がな	:	(入力必須)
	1999年8月26 会社名 Administrator/スワード	:   :   :	
	Administrator/ 「スワードの確認 クライアントライセンス ・ 同時使用ユーザ鉄モード: 「5 ・ 指続デバイス数または接続ユー	- ザ数モード	
R9 🔿	©≵^	TOP~	「「デフォルトへ戻す



10. ネットワークプロトコルの設定をする。

[ネットワークプロトコルの設定]画面が表示されます。設定内容を確認し、必要な ら修正を行ってから[次へ]をクリックしてください。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	コンボー ネントの 設定 日本 設定の 日本 のゼーラ 日本 自動イン ストール 設定 日本 設定
ネットワークプロトコルの設定を行います。 IPアドレスを指定する場合は、「カスタム設定」を選択し、「詳報 ネットワークの設定を行わない場合は、「標準設定」を選択し、	翻定」尽多、を押してくださ、。 「永へ」ボタンを押してください。
	24+63/07
R5 💿 💿 X^	<sup>®</sup> 10₽^ <sup>®</sup> 77#₩~₩Ŧ



11. 参加ドメイン・ワークグループを指定する。

[参加ドメイン・ワークグループの指定]画面が表示されます。 設定内容を確認し、必要なら修正を行ってから[次へ]をクリックしてください。

NEC			EXPRESS	BUILDER
Step 👞	ネットワーク フロトユ5の III クークウスト 設定 III の指定			自動インストールの開始
ドメインパン参加す ドメインパン参加して	る場合は、アカウント名とバスワー はい場合は、「ワークグループに参	ドを入力してください。 加する」を灌扱し、「次へ」ボタンを押	してくだきい。	
	<ul> <li>ワークグループに参加</li> <li>ワークグループ名</li> </ul>	する : Morkgroup		
	○ ドメインに参加する ドメインに参加する		_	
		:		
		:		
	パスワードの確認	:		
R C	⊘☆~	TOPA	『アフォルトへ戻す	
				Version 5.XX-XXX XX

12. コンポーネントの設定をする。

[コンポーネントの設定]画面が表示されます。設定内容を確認し、必要なら修正を 行ってから[次へ]をクリックしてください。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step … 第20-50 … 第20-545 … 第20-555 … 第20-545 … 第20-545 … 第20-545 … 第20-545 … 第20-545 … 第20-545 … 第20-555 … 第2	ンボー ションの II・ パラメータ II・ 自動イン ストーの II・ II・ II・ II・ II・ II・ II・ II・ II・ II
インストールするWindowsコンボーネントを選択してください。	
アプリケーションサーバー       □     インターネットインフォメーションサービス(05)       管観とモニタケール     マ (MS-ケックーン管理プロトール)(SIMP)       □     ローン管理プロトール(SIMP)       □     ローン・プロプロトール(SIMP)	21452372
<b>ネットワークサービス</b> 「 税務でのキロサービス 「 税務でのキロサービス 「 税約ない考入機成プローンは人のBCP) 「 ドメインキームシステム(XM3) 「 Window インターネットネームサービス(W135)	その他のキットワージファイルと印刷サービス 「 Mateinshill ファイル サービス 「 Mateinshill Pript・ビス 「 Mateinshill Pript・ビス
<b>Β</b> δ ◯ ⊘χ∧	① TOPへ (の)デフォルトへ戻す Yemies 5 25 221 X3

13. アプリケーションの設定をする。

[アプリケーションの設定]画面が表示されます。設定内容を確認し、必要なアプリケーションを選択して[次へ]をクリックしてください。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step 11 25-57 11 25-	コンボー ネンドの III ジョン ロンボー パラメータ ストーク III ストーク のビー III ロン ロンドロ の開始
インストールするアプリケーションを選択してくたき、。 ・ESMPROGeneralgentのインストールには、簡易キットワーク管 ・エクスプレス連携サービスは、ESMPROGeneralgentをインスト・ ・EXPRESSILLDERに含まれていない、ディスクドライバを使用す ・「通知アプリケーションのインストールルについては、「ユーザー	想プロトコルASMATPの設定が必要です。 ールプな操作のみ接続できます。 これ者はに「大容量品は依認例PostA-Deaの通用」を選択してください。 プリイトで多考明してください。
植物育能なアラリアーション 大学量記程度置用Sassanの漫画 通知アラリケーションのインストール	選択されたアラリアーション IEDEMOGrave Nations IEDEMOGrave Nations IEDEMOGrave National Nationa
R5 🔿 🔿 X^	① TOPへ ② ダフォルトへ取す Notice 1711111



14. パラメータをセーブをする。

[パラメータのセーブ]画面が表示されます。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step         新分ワーク フロンエクの 設定         参加ドバン ア・ケブルマア の指定	コンボー ションの 設定の のセーブ のサーブ の開た
パラメータをセーブする場合は、フロッビーディスクドライカ: パラメータファイルのパスを入力してくだみ、。 パラメータをセーブしない場合は、「パラメータをセーブしない ※フロッビーディスクドライブが接続されていない場合はパラ	ニフォーマット満みれたをセットして、「ハラメータをセーブする」を選択し、 小を選択してくださし、 ジメータはセーブできません。
<ul> <li>○ バラメータをセーブしない</li> <li>○ バラメータをセーブする</li> </ul>	<b>今</b> 照
<b>ξδ</b>	TOP~

[パラメータファイルを保存しない場合]

「パラメータをセーブしない」を選択して、[次へ]をクリックする。



### [パラメータファイルを保存する場合]

「パラメータをセーブする」を選択し、フォーマット済みフロッピーディスクをセットした後、パラメータファイルのパスをボックスへ入力し、[次へ]をクリックする。

パラメータファイルのパスおよびファイル名に日本語は使用しないでください。



ここで作成したパラメータファイルは、再インストールのときに使用すること ができます。また、パラメータファイルは「ExpressPicnic」からも作成するこ とができます。 15. 自動インストールの開始画面で[実行する]をクリックする。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step m 2かワーク アロトコ5の m 2の指す の指す	が、 コンボー ネントの 設定 のゼーブ … し し のビーブ … の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーン の の ビーブ の の ビーブ の の ビーブ の の ビーブ の の ビーブ の の で 一 の の で の で の の で の の で の の で の の の で の の で の の の の の の の の で の の の の の の の の の の の の の
シームレスセットアッガこ必要な全ての情報を叫 「実行する」ポタンを押すと、シームレスセットア・	爆しました。 / ブを開始します。
<b>д</b> а 🕙	① TOPへ ②実行する

16. オプションの大容量記憶装置ドライバのモジュールをコピーする。

オプションの大容量記憶装置ドライバをインストールする場合は、メッセージが表示されますので、大容量記憶装置に添付されているCD-ROMまたはフロッピーディスクをセットし、以降は画面のメッセージに従って操作してください。

<b>@</b> ]		X
1	CD/DVDドライブ、またはフロッピーディスクドライブへ、 「大容量記憶装置用OEM-Disk」をセットしてください。	

17. 追加するアプリケーションをインストールする。

シームレスセットアップに対応しているアプリケーションを追加でインストールする場合は、メッセージが表示されますので、追加するアプリケーションのCD-ROMまたはフロッピーディスクをセットし、以降は画面のメッセージに従って操作してください。

<b>@</b>		X
1	CDDVDドライブ、またはフロッピーディスクドライブへ、 追加するアブリケーションが格納されたディスクをセット してください。	
	OK キャンセル	

18. メッセージに従って「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取 り出す。

フロッピーディスクがドライブにセットされている場合は、DVDと一緒に取り出し ておいてください。

19. Windows Server 2003 CD-ROMを光ディスクドライブにセットする。

[ソフトウェア使用許諾契約] 確認画面が表示されます。

の使用許諾契約をお読 クロールして使用許諾契	みください。 辺的を最後までお読みください。
ndows のセットアップを約 払いを選んで契約に同想 いえ」を選ぶとセットアッ	統行する場合には 意してください。 ップを中止します。
<b>F</b>	
₩icrosoft ₩i 「マイクロソ	indows Server 2003 パッケージに同梱されている Jフト ソフトウェア使用許諾契約書」 をお読みください。

20.「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容をご確認のうえ、同意する場合は、[はい] をクリックする。

同意しない場合は、[いいえ]をクリックしてください。

Windows Server 2003と指定したアプリケーションは、自動的にインストールされ 数回再起動がかかります。 再起動後は、自動的にシステムにログオンします。

- 21. [セットアップ完了]画面で[OK]をクリックする。
- Microsoft Windows Server 2003 R2をインストールの場合は、インストール 完了後、[Windows セットアップ] 画面が表示されます。

Windows	セットアップ	×
6	Windows Setup は完了していません。セットアップを続行することをお勧めします。セット アップを読行することにより、このバージョンの Windows Server オペレーティング システム の追加コンポーネントをインストールできます。	
	新しいコンボーネントの詳細は、Windows Server CD 2 のドキュメントを参照してください。	
	セットアップを続行するには、Windows Server CD 2 を挿入するか、または Windows Server CD 2 のファイルが格納されている場所を指定して [OK] をクリックしてください。	
	Windows Server CD 2 のファイルの場所(L):	
	D¥ 参照( <u>B</u> )	
	<u> </u>	

Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition DISC 2 またはMicrosoftWindows Server 2003 R2 Enterprise Edition DISC 2を光ディスクドライブにセットし、 [OK]をクリックする。

以降はメッセージに従って作業を進めてください。

インストール終了後、Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard EditionDISC 2またはMicrosoft Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition DISC 2を光ディ スクドライブから取り出し、再起動してください。 23. PROSetをインストールする。

PROSetは、ネットワークドライバに含まれるネットワーク機能確認ユーティリティです。

PROSetを使用することにより、以下のことが行えます。

- アダプタ詳細情報の確認
- ループバックテスト、パケット送信テストなどの診断
- Teamingの設定

ネットワークアダプタ複数枚をチームとして構成することで、装置に耐障害性に優れた環境を提供し、装置とスイッチ間のスループットを向上させることができます。 このような機能を利用する場合は、PROSetが必要になります。 PROSetをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

(1) 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。

オートランで起動するメニューが表示されたら、メニュー画面を閉じてくだ さい。

- (2) エクスプローラを起動する。
- (3)「¥001¥win¥winnt¥dotnet¥ns41s¥proset¥2kxpws03」ディレクトリ内の「dxsetup.exe」アイコンをダブルクリックする。

[Intel(R) PRO Network Connections - InstallShield ウィザード]が起動します。

- (4) [次へ]をクリックする。
- (5) [使用許諾契約の条項に同意します]を選択して[次へ]をクリックする。
- (6) [すべて]を選択して[次へ]をクリックする。
- (7) [インストール]をクリックする。

[InstallShield ウィザードを完了しました]ウィンドウが表示されます。

- (8) [完了]をクリックする。
- (9) システムを再起動する。
- (10)「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取り出し、システムを 再起動する。

以上で完了です。



24. ネットワークドライバのセットアップをする。

標準装備の2つのネットワークドライバは、BTO出荷時、またはEXPRESSBUILDER から「システムのアップデート」を実行するとインストールされます。 インストール後は、次の手順に従って、ドライバへ転送速度とDuplexモードの設定 をしてください。また、IPアドレスを設定する際、[インターネットプロトコル(TCP/ IP)]のチェックボックスが外れている場合、チェックを付けてからIPアドレスの設定 してください。

#### <PROSetがインストールされていない場合>

- (1) デバイスマネージャを起動する。
- (2) ネットワークアダプタを展開し、[Intel(R) PRO/1000 EB Network Connection with I/O Acceleration]をダブルクリックする。

ネットワークアダプタのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

- (3) [詳細設定]タブをクリックし、[リンク速度とデュプレックス]をハブの設定値 と同じ値に設定する。
- (4) ネットワークアダプタのプロパティのダイアログボックスの[OK]をクリック する。
- (5) 同様の手順にて、もう一方のネットワークアダプタ[Intel(R) PRO/1000 EB Network Connection with I/O Acceleration #2]の設定を行う。

以上で完了です。

#### <PROSetがインストールされている場合>

- (1) デバイスマネージャを起動する。
- (2) ネットワークアダプタを展開し、[Intel(R) PRO/1000 EB Network Connection with I/O Acceleration]をダブルクリックする。

ネットワークアダプタのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

- (3) [リンク速度]タブをクリックし、[速度とデュプレックス]をハブの設定値と同じ値に設定する。
- (4) ネットワークアダプタのプロパティのダイアログボックスの[OK]をクリック する。
- (5) 同様の手順にて、もう一方のネットワークアダプタ[Intel(R) PRO/1000 EB Network Connection with I/O Acceleration #2]の設定を行う。

以上で完了です。

また、必要に応じてプロトコルやサービスの追加/削除をしてください。[ネットワーク接続]からローカルエリア接続のプロパティダイアログボックスを表示させて行います。



25. 33~40ページを参照して、オプションのデバイスでドライバをインストールしていないものがある場合は、それぞれを確実にインストールする。

26. 41ページの「障害処理のためのセットアップ」を参照してセットアップをする。

27.48ページを参照してシステム情報のバックアップをとる。

以上でシームレスセットアップを使ったセットアップは完了です。

### デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ

オプションのデバイスドライバのインストールやセットアップについてはオプションに添付 の説明書を参照してください。

> デバイスドライバのセットアップを行う場合、光ディスクドライブを使用する 必要がある場合があります。光ディスクドライブを使用する場合の詳細な手順 については、光ディスクドライブのユーザーズガイドを参照してください。(ブ レード収納ユニットに内蔵の光ディスクドライブも使用可能です)。

### PROSet

PROSetは、ネットワークドライバに含まれるネットワーク機能確認ユーティリティです。 PROSetを使用することにより、以下のことが行えます。

- ー アダプタ詳細情報の確認
- ループバックテスト、パケット送信テストなどの診断
- Teamingの設定



ネットワークアダプタ複数枚をチームとして構成することで、システムに耐障害性に優れた環境を提供し、装置とスイッチ間のスループットを向上させることができます。このような機能を利用する場合は、PROSetが必要になります。

PROSetをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

- Windows Server 2003 x64 Editionsの場合
  - 1. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。
  - 2. エクスプローラを起動する。

標準のスタートメニューモードの手順

スタートメニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]をク リックする。

クラシックスタートメニューモードの手順

スタートメニューから[プログラム]、[アクセサリ]の順にポイントし、[エクスプロー ラ]をクリックする。

3. 「dxsetup.exe」を実行する。

「¥001¥win¥winnt¥w2k3amd¥ns41s¥proset¥ws3xpx64」ディレクトリ内の 「dxsetup.exe」アイコンをダブルクリックする。 [Intel(R) PRO Network Connections - InstallShield ウィザード]が起動します。

- 4. [次へ]をクリックする。
- 5. [使用許諾契約の条項に同意します]を選択して[次へ]をクリックする。
- 6. [すべて]を選択して[次へ]をクリックする。
- 7. [インストール]をクリックする。

[InstallShield ウィザードを完了しました]ウィンドウが表示されます。

- 8. [完了]をクリックする。
- 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取り出し、システムを再 起動する。

以上で完了です。

#### ● Windows Server 2003の場合

- 1. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。
- 2. エクスプローラを起動する。

#### 標準のスタートメニューモードの手順

スタートメニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]をク リックする。

クラシックスタートメニューモードの手順

スタートメニューから[プログラム]、[アクセサリ]の順にポイントし、[エクスプロー ラ]をクリックする。

3. 「dxsetup.exe」を実行する。

「¥001¥win¥winnt¥dotnet¥ns41s¥proset¥2kxpws03」ディレクトリ内の 「dxsetup.exe」アイコンをダブルクリックする。 [Intel(R) PRO Network Connections - InstallShield ウィザード]が起動します。

- 4. [次へ]をクリックする。
- 5. [使用許諾契約の条項に同意します]を選択して[次へ]をクリックする。
- 6. [すべて]を選択して[次へ]をクリックする。
- 7. [インストール]をクリックする。

[InstallShield ウィザードを完了しました]ウィンドウが表示されます。

- 8. [完了]をクリックする。
- 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取り出し、システムを再 起動する。

以上で完了です。

### ネットワークアダプタの再インストール手順

OSのインストール後にネットワークドライバを削除し、再インストールする場合は以下の手順で再インストールしてください。

#### Windows Server 2003 x64 Editions, Windows Server 2003の場合

オプションのネットワークボード(N8403-017/020)を使用する場合について説明します。 「N8403-017/020」を使用する場合は、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているドライ パをインストールしてください。 Windows Server 2003 x64 Editionsの場合 「N8403-017/020」のボード名ドライバ 「¥001¥win¥winnt¥w2k3amd¥ns41s¥pro1000¥ws3xpx64」 Windows Server 2003の場合 「N8403-017/020」のボード名ドライバ 「¥001¥win¥winnt¥dotnet¥ns41s¥pro1000¥ws03xp2k」

### オプションのネットワークボードのドライバ

オプションのネットワークボード(N8403-017/020)を使用する場合は、下記のインストー ル方法に従ってドライバのインストールをしてください。

- 1. デバイスマネージャを起動する。
- [ネットワークアダプタ]→[Intel(R) PRO/1000~]をダブルクリックする。
   [Intel(R) PRO/1000~]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. [ドライバ]タブを選択し、[ドライバの更新]をクリックする。 [ハードウェアの更新ウィザード]が表示されます。
- 4. [いいえ、今回は接続しません]を選択して[次へ]をクリックする。
- 5. [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリッ クする。

[?その他のデバイス]→[?イーサネットコントローラ]がある場合は[?イーサネットコントローラ]をダブルクリックしてください。

### 6. [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[次の場所を含める]にチェック を入れ、

Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

「N8403-017/020」のボード名ドライバ

[¥001¥win¥winnt¥w2k3amd¥ns41s¥pro1000¥ws3xpx64]

Windows Server 2003の場合

「N8403-017/020」のボード名ドライバ

[¥001¥win¥winnt¥dotnet¥ns41s¥pro1000¥ws03xp2k]

と入力し、[次へ]をクリックする。

ドライバの検索が開始され、検索後にインストールが始まります。しばらくすると [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されます。

7. [完了]をクリックする。

以上で完了です。

### グラフィックスアクセラレータドライバ

標準装備のグラフィックスアクセラレータドライバはEXPRESSBUILDERから「システムの アップデート」を実行するとインストールされます。 シームレスインストールを実施した場合は自動的にインストールされています。

ドライバを個別に再インストールしたいときは、次の手順に従ってください。

- 1. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。
- スタートメニューから [プログラム]、[アクセサリ]の順でポイントし、[エクス プローラ]をクリックする。
- 3. 「¥001¥win¥winnt¥dotnet¥video¥matrox」ディレクトリ内の[setup.exe] アイコンをダブルクリックする。
  - ※ Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

「¥001¥win¥winnt¥w2k3amd¥video¥matrox」ディレクトリ内の [SETUP.EXE]アイコンをダブルクリックする。

メッセージに従ってインストール作業を進めてください。

途中、「デジタル署名が見つかりません」というメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックし、インストールを続けてください。

4. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取り出し、システムを再 起動する。

### アダプタフォルトトレランス(AFT)/アダプティブロードバラン シング(ALB)のセットアップ

アダプタフォルトトレランス(AFT)とは、複数のアダプタでグループを作り、使用されて いるアダプタに障害が発生した場合、自動的にグループ内の他のアダプタに処理を移行 させるものです。また、アダプティブロードバランシング(ALB)とは複数のアダプタで グループを作り、サーバから送受信パケットをグループすべてのアダプタから行うこと により、スループットを向上させるものです。この機能はAFT機能を含んでいます。

動的リンクアグリゲーション(DLA)は、接続しているポートを論理的に束ねて、仮想的に 1つのネットワークインタフェイスとして使用するための機能で、IEEE802.3ad Link Aggregation(DLA)として規定されている機能です。AFT/ALB/DLA機能を使用する場合 は、以下の手順に従ってセットアップしてください。

- AFT/ALB のセットアップは、ドライバインストール後、必ず再起動し
   重要 た後に行う必要があります。
  - アダプタフォルトトレランス(AFT)、アダプティブロードバランシング (ALB)、IEEE802.3ad Link Aggregation(DLA)のグループとして 指定するアダプタは、同一ハブ、異なるハブのどちらの接続でも使用可 能ですが、異なるHUBに接続する場合は、すべて同一LAN(同一ネット ワーク)上に存在するよう、HUB同士をカスケード接続にして使用して ください。
  - 複数台のスイッチを使用する場合は使用者側で十分な評価を実施する必要があります。
  - IEEE802.3ad Link Aggregation(DLA)を使用するにあたっては IEEE802.3ad Link Aggregation(Dynamic mode)に対応したス イッチングハブが必要となります。
  - マザーボードまたはオプションのネットワークカードを交換する場合
     は、必ずチームを削除し、交換後にチームを再作成してください。
- Windows Server 2003 x64 Editions の場合
  - 1. デバイスマネージャより、ネットワークアダプタのプロパティを開く。
  - チーム化のタグを選択し、「その他のアダプタとチーム化する(T)」にチェックを入れ、[新規チーム]をクリックする。
  - 3. チームの名前を入力後、[次へ]をクリックする。
  - 4. チームに含めるアダプタをチェックし、[次へ]をクリックする。
  - チームモードの選択で、「アダプタフォルトトレランス」、「アダプティブロードバ ランシング」「IEEE802.3ad 動的リンク アグリゲーション」のいずれかを選択 し、[次へ]をクリックする。
  - 6. [完了]をクリックする。
  - デバイスマネージャより、上記で設定したチーム名のデバイスのプロパティを開く。
  - 8. 「設定」のタグを選択し、[チームの編集]をクリックする。
  - チーム内のアダプタで、プライマリに設定する場合、アダプタを選択し、「プライマリの設定」をクリックする。

チーム内のアダプタで、セカンダリに設定する場合、アダプタを選択し、「セカンダリの設定(S)」をクリックしてください。

両方の設定が終了した場合、[OK]をクリックして画面を閉じてください。

設定が適用されているかの確認は以下の手順を実施してください。論理アダプタの プロパティを開き、[設定]タブを選択し[チーム内のアダプタ]の各アダプタにプライ マリまたはセカンダリが表示されているので、表示されていることを確認してくだ さい。

10. 「スイッチのテスト」をクリック後、スイッチのテスト画面が表示されたら、「テストの実行」をクリックして実行する。

実行結果、問題なしのメッセージが表示されれば、テスト完了です。

- Windows Server 2003 の場合
  - 1. デバイスマネージャより、ネットワークアダプタのプロパティを開く。
  - チーム化のタグを選択し、「その他のアダプタとチーム化する(T)」にチェックを入れ、[新規チーム]をクリックする。
  - 3. チームの名前を入力後、[次へ]をクリックする。
  - 4. チームに含めるアダプタをチェックし、[次へ]をクリックする。
  - チームモードの選択で、「アダプタフォルトトレランス」、「アダプティブロードバ ランシング」「IEEE802.3ad 動的リンク アグリゲーション」のいずれかを選択 し、[次へ]をクリックする。
  - 6. [完了]をクリックする。
  - デバイスマネージャより、上記で設定したチーム名のデバイスのプロパティを開く。
  - 8. 「設定」のタグを選択し、[チームの編集]をクリックする。
  - チーム内のアダプタで、プライマリに設定する場合、アダプタを選択し、「プライマリの設定」をクリックする。

チーム内のアダプタで、セカンダリに設定する場合、アダプタを選択し、「セカンダリの設定(S)」をクリックしてください。

両方の設定が終了した場合、[OK]をクリックして画面を閉じてください。

設定が適用されているかの確認は以下の手順を実施してください。論理アダプタの プロパティを開き、[設定]タブを選択し[チーム内のアダプタ]の各アダプタにプライ マリまたはセカンダリが表示されているので、表示されていることを確認してくだ さい。

10. 「スイッチのテスト」をクリック後、スイッチのテスト画面が表示されたら、「テストの実行」をクリックして実行する。

実行結果、問題なしのメッセージが表示されれば、テスト完了です。

### スケーラブルネットワークパック (SNP)のセットアップ

スケーラブルネットワークパック(Microsoft Windows Server 2003 Scalable Networking Pack)とは、ネットワークパケット処理を専用のネットワークアダプタにオフロードすることによって、ネットワークのスループットを向上させるためのモジュールです。

SNPがサポートしているOSは次のとおりです。

- Windows Server 2003 x64 Editions
- Windows Server 2003

また、SNPには次の3つの機能があります。

• TCP Chimney Offload

ネットワークパケットの分割や再構築などの処理をネットワークアダプタに任せることによって、CPUのオーバーヘッドを削減します。

Receive-side Scaling

受信ネットワーク処理が複数のCPUで共有されるようになり負荷分散されます。

NetDMA

通常、ネットワークデータのメモリ転送処理はCPUによって行われますが、これをネットワークアダプタのDMA(Direct Memory Access)を使用することにより、このような処理からCPUを開放します。

Microsoft Windows Server 2003 Scalable Networking Pack の入手については、 ア記サイトを参照してください。

[NEC 8番街] http://nec8.com/

SNPを使用する場合は、以下手順に従ってセットアップしてください。



- 1. システムを起動し、Administratorユーザでログインする。
- 2. エクスプローラあるいはコマンドプロンプトより、以下のファイルを実行する。

32-bit x86 の場合: WindowsServer2003-KB912222-v9-x86-JPN.exe

x64 Editionの場合: WindowsServer2003.WindowsXP-KB912222-v9-x64-JPN.exe

- 3. 「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[実行]ボタンをクリックする。
- 4. ファイルの展開後、[次へ]をクリックする。
- 5. 「使用許諾契約」画面が表示されるので、使用許諾契約書を読み、[同意します]を 選択し、[次へ]をクリックする。

ファイルのコピーが開始され、インストールが始まります。しばらくするとセット アップウィザード終了画面が表示されます。 6. [完了]をクリックする。

#### 7. システムを再起動する。

以上で完了です。

「プログラムの追加と削除」を起動し、"WindowsServer 2003 ホットフィックス - サポート 技術情報 (KB) 912222"が表示されていれば、SNPが正常にインストールされています。

なお、SNP のインストール後にシステムをインストール前の状態に戻す必要が生じた場合、 以下の手順でSNPをアンインストールしてください。

> ■● SNPのインストールを行った後に他のモジュール(Update媒体、 ServicePack、セキュリティパッチ等)を適用している場合、それらのモ ジュールのアンインストールを行ってから、SNPのアンインストールを行っ てください。

- 1. Administrator ユーザでログインする。
- 2. 「プログラムの追加と削除」を起動する。
- 3. 以下を選択し、「削除] ボタンをクリックする。

"Windows Server 2003 ホットフィックス - サポート技術情報 (KB) 912222"

- 4. 「ソフトウェア更新の削除ウィザード」が起動されるので、[次へ]をクリックする。 KB912222 のアンインストールが始まります。しばらくするとアンインストール終 了画面が表示されます。
- 5. [完了]をクリックする。
- 6. システムを再起動する。

### FibreChannelコントローラ(N8403-018)を追加接続する場合

#### Windows Server 2003 x64 Editions、Windows Server 2003の場合

システムにFibreChannelコントローラ(N8403-018)を追加接続する場合、OSのプラグアン ドプレイ機能が動作しますが、ドライバは自動インストールされません。その場合には、シス テムのアップデートを行ってください。システムのアップデートを行うとドライバが自動でイ ンストールされます。

### 障害処理のためのセットアップ

障害が起きたとき、より早く、確実に障害から復旧できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしておいてください。

CこではWindows Server 2003の場合を例にして手順を示していますが、 Windows Server 2003 x64 Editionsでも同様の手順でセットアップしてください。

### メモリダンプ(デバッグ情報)の設定

本体内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定です。



次の手順に従って設定します。

- スタートメニューから[コントロールパネル]を選択し、[システム]をクリックする。
   [システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 2. [詳細設定] タブをクリックする。
- 3. [起動と回復] ボックスの [設定] をクリックする。

୬ステムのプロパティ	? ×
全般   コンピュータ名   ハードウェ ? 【詳細設定    自 加更新   リモート	
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどの変更はできません。	
「パフォーマンス」 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ	
設定③	
ーユーザー ブロファイル ログオンに関連したデスクトップ設定	
ー起動と回復 システム起動、システム障害、およびデバッグ情報	
設定①	
環境変数(1) エラー報告(12)	
	( <u>A</u> )

ダンプファイルのテキストボックスにデバッグ情報を書き込む場所を入力する。
 <Dドライブに「MEMORY.DMP」というファイル名で書き込む場合>

### D:¥MEMORY.DMP

起動と回復		<u>?</u> ×
- 記曲システム		
既定のオペレーティング システム(S):		
"Windows Server 2003, Enterprise" /fastdetect		-
✓ オペレーティング システムの一覧を表示する時間(T):	30 🕂 秒間	
□ 必要なときに修復オプションを表示する時間(D):	30 🗄 秒間	
起動のオブション ファイルを手動で編集するには、 [編集] をクリック:	編集(E)	
▶ システム ログにイベントを書き込む(90)		
☑ 管理者へ警告を送信する(N)		
☑ 自動的に再起動する(R)		
デバッグ情報の書き込み		
完全メモリ ダンプ		
ダンプ ファイル:		
D:¥MEMORY.DMP		
OK	キャンセル	,



Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

- デバッグ情報の書き込みは[完全メモリダンプ]を指定することを推奨します。ただし、搭載メモリサイズが2GBを超える場合は、[完全メモリダンプ]を指定することはできません(メニューに表示されません)。その場合は、[カーネルメモリダンプ]を指定してください。
- 本装置に搭載しているメモリサイズ+1MB以上の空き容量のあるドライ ブを指定してください。
- メモリ増設により搭載メモリサイズが2GBを超える場合は、メモリ増設 前にデバッグ情報の書き込みを[カーネルメモリダンプ]に変更してく ださい。また、メモリ増設により採取されるデバッグ情報(メモリダン プ)のサイズが変わります。デバッグ情報(メモリダンプ)の書き込み先ド ライブの空き容量を確認してください。

Windows Server 2003の場合

- デバッグ情報の書き込みは[完全メモリダンプ]を指定することを推奨します。ただし、搭載メモリサイズが2GBを超える場合は、[完全メモリダンプ]を指定することはできません(メニューに表示されません)。
   その場合は、[カーネルメモリダンプ]を指定してください。
- 本装置に搭載しているメモリサイズ+12MB以上(メモリサイズが2GB を超える場合は、2048MB+12MB以上)の空き容量のあるドライブを 指定してください。
- メモリ増設により搭載メモリサイズが2GBを超える場合は、メモリ増設前にデバッグ情報の書き込みを[カーネルメモリダンプ]に変更してください。また、メモリ増設により採取されるデバッグ情報(メモリダンプ)のサイズが変わります。デバッグ情報(メモリダンプ)の書き込み先ドライブの空き容量を確認してください。

5. [パフォーマンス] ボックスの [設定] をクリックする。

[パフォーマンスオプション] ウィンドウが表示されます。

システムのプロパティ <u>? ×</u>
全般 コンピュータ名 ハードウェア 詳細設定 自動更新 リモート
Administrator としてログオンしない場合は、これらのほとんどの変更はできません。
パフォーマンス 視覚効果、プロセッサのスケジュール、メモリ使用、および仮想メモリ
設定⑤
- ユーザー ブロファイル ログオンに関連したデスクトップ設定
起動と回復 システム起動、システム障害、およびデバッグ情報
設定①
環境変数( <u>1</u> ) エラー報告( <u>B</u> )

6. [パフォーマンスオプション] ウィンドウの [詳細設定] タブをクリックする。

パフォーマンスオプション	? ×
視覚効果(詳細設定)	
コンピューン(U) Windows のデザインとパフォーマンスに使う設定を選択してく) い。	ださ
○ コンピュータに応じて最適なものを自動的に選択する(L)	
○ デザインを優先する(旦)	
○ パフォーマンスを優先する(P)	
С лляд( <u>C</u> ):	
<ul> <li>□ ウィンドウを最大化や最小化するとき(こアニメーションで表示する</li> <li>□ ンボボックスをスライドして閉バ</li> <li>□ スカリーン フォントの縁を滑らかにする</li> <li>□ タスク バーボタンをスライドする</li> <li>□ デスクトップのアイコン名に彩を付ける</li> <li>□ ドラッグ中(ごクィンドウの内容を表示する</li> <li>□ とントをフェードまたはスライドで表示する</li> <li>□ フォルダでよび使用するタススを使用する</li> <li>□ マウス ポインタの下に彩を表示する</li> </ul>	
OK キャンセル 適用	F( <u>A</u> )

7. [仮想メモリ] ボックスの [変更] をクリックする。

<ul> <li>視覚効果 詳細設定</li> <li>プロセッサのスケジュール</li> <li>プロセッサのハソースをどう書り当てるかを選択します。</li> <li>、次のパフォーマンスを優先する:</li> <li>⑦ ブログラム(P)</li> <li>○ 「いっクグラウンド サービス(S)</li> </ul> メモリ使用量 <ul> <li>システム メモリをどう書り当てるかを選択します。</li> </ul>	パフォーマンス オブション ?	x
プロセッサのスケジュール プロセッサのソソースをどう書的当てるかを選択します。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	視覚効果 詳細設定	
、次のパフォーマンスを優先する: ⑦ プログラム(P) ⑦ <u>パックグラウンド サービス(S)</u> メモリ使用量 システム メモリをどう書り当てるかを選択します。	プロセッサのスケジュール プロセッサのリソースをどう書い当てるかを選択します。	
<ul> <li>アログラム(P)</li> <li>アミックグラウンド サービス(S)</li> <li>メモリ使用量</li> <li>システム メモリをどう書り当てるかを選択します。</li> </ul>	次のパフォーマンスを優先する:	
メモリ使用量 システム メモリをどう書り当てるかを選択します。	C プログラム(P) ● (パックグラウンドサービス(S)	
次のパフォーマンスを優先する:	システム メモリをどう割り当てるかを選択します。 次のパフォーマンスを優先する: 「 プログラム(R) 「 システム キャッシュ(T)	
仮想メモリ ページッグ ファイルは、Windows が RAM のように使用するハード ディスク にある領域です。 すべてのドライブの総ページング ファイル サイズ: 102 MD 変更(2) OK キャンセル 適用(合)		

8. [選択したドライブのページングファイルサイズ] ボックスの [初期サイズ] を[す べてのドライブの総ページング ファイルサイズ]ボックスに記載されている推奨値 以上に変更し、[設定] をクリックする。

Ø	反想メモリ	J						<u>?</u> ×
	ドライブ	「ボリューム:	5ベル]( <u>D</u> )	~	ージング つ	アイルのサ	サイズ(MB)	
	C:				192	- 384		
	「選択し	,たドライブの/ ゴ・	ページング つ	ファイル サ	イズーー			
	7249	iā tati	66	AM CA				
[	<ul> <li>① 力</li> <li>2TI#E</li> </ul>	はなな サイズ Iサイブ (MR))	( <u>C</u> ): n. 10	12	_			
	最大	'サイブ' (MB)	v. ⊡ xv 38	84	-	)		
	1000		9. p. 10.W					
	0 ^	ページング ファ	(ルなし( <u>N</u> )				設定(S)	
	「すべて	のドライブの総	シページング	ファイル	サイズー	5		
	最小	限:	2	MB				
	現在	の割り当て:	19	9 MB				
				ſ				
				l	O			201

- 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のための推奨サイズです。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズを持つページングファイルが必要です。また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合があるため、システム全体で十分なページングファイルサイズを設定してください。
  - 「推奨値」については、インストレーションサプリメントガイドの「注意事項」の「システムパーティションのサイズについて」の項を参照してください。
  - メモリを増設した際は、メモリサイズに合わせてページングファイルを 再設定してください。

9. [OK] をクリックする。

設定の変更内容によってはシステムを再起動するようメッセージが表示されます。 メッセージに従って再起動してください。

### ワトソン博士の設定

Windows ワトソン博士はアプリケーションエラー用のデバッガです。アプリケーションエ ラーを検出するとシステムを診断し、診断情報(ログ)を記録します。診断情報を採取できる よう次の手順に従って設定してください。

- 1. スタートメニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 2. [名前] ボックスに「drwtsn32.exe」と入力し、[OK] をクリックする。

ファイル名を	指定して実行	<u>? ×</u>
	実行したいアプリケーション名、または聞きたいフォルダやドキュメン 名、インターネットリソース名を入力してください。	ŀ
名前(0)	drwtsn32.exe	•
	OK : パンセル 参照(B).	

3. [ログファイルパス] ボックスに診断情報の保存先を指定する。

🎒 Windows ワトソン	博士	<u>?</u> ×
ログ ファイル パス( )。 クラッシュ ダンプ(P.	ition Data¥Microsoft¥Dr Watson C¥Documents and Settings¥Adr	参照( <u>B</u> ) 参照( <u>O</u> )
WAVE ファイル(E): インストラクションの数位	): [10	275 W.
(米存するエラー数(仏): オブション マレンフシンボル マレンフシンボル マレンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシンボル マロンフシン マション マシンフシンボル マレンフシン マシンフシンボル マレンフシン マシンフシン マシンフシン マシンフシン マシン マシンフシン マシン マシン マシン マシン マシン マシン マシン マシン マシン マ	10 <u>マイ・ト・元主・ド・取</u> () テーブル( <u>D</u> ) コンテキストをダンプ( <u>A</u> ) イルに追加( <u>E</u> ) いスによる通知( <u>U</u> ) シ ファイルの作成( <u>D</u> ) <u>表示(</u> <u>W</u> )	► (NT4 互換) ♪リア(Q)
OK	**>セル ^ルブ()	Ð

「DRWTSN32.LOG」というファイル名で保存されます。



[Windowsワトソン博士] ダイアログボックスが表示されます。

4. [クラッシュダンプ] ボックスにクラッシュダンプファイルの保存先を指定する。



- 5. [オプション] ボックスにある次のチェックボックスをオンにする。
  - ダンプシンボルテーブル
  - すべてのスレッドコンテキストをダンプ
  - 既存のログファイルに追加
  - ー クラッシュダンプファイルの作成

それぞれの機能の説明についてはオンラインヘルプを参照してください。

6. [OK] をクリックする。

### システムのアップデート

システムのアップデートは次のような場合に行います。

- CPUを増設(シングルプロセッサからマルチプロセッサへ増設)した場合
- 再セットアップを行った場合
- システム構成を変更した場合(内蔵オプションの機器の取り付け/取り外しをした場合)
- 修復プロセスを使用してシステムを修復した場合
- バックアップツールを使用してシステムをリストアした場合 (サービスパック関連のExpress5800用差分モジュールを適用したシステムの場合は、 再度RURのフロッピーディスクを使用してExpress5800用差分モジュールを適用して ください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。)
- 本装置のBIOSセットアップユーティリティを使って「Hyper-Threading Technology」の設定を変更した場合(プロセッサに関する設定項目です)

### ターミナルサービスクライアントからアップデートする場合



- 1. ターミナルサービスクライアントに管理者権限のあるアカウント(Administrator など)でシステムにログオンする。
- ターミナルサービスクライアントの光ディスクドライブに、 「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。

ターミナルサービスクライアントの画面にメニューが表示された場合は、終了させてください。

3. <Windows Server 2003 x64 Editionsの場合>

[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] ボック スに「¥001¥win¥winnt¥w2kamd¥update.vbs」を入力し、[OK] をクリックする。

#### <Windows Server 2003の場合>

スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、[名前] ボックス に「¥001¥win¥winnt¥dotnet¥update.vbs」を入力し、[OK] をクリックする。

以降は、ターミナルサービスクライアントの画面に表示されるメッセージに従って 処理を進め、システムのアップデートを適用してください。

下の画面が表示されたら[閉じる]をクリックしてください。





### ローカルでアップデートする場合

「EXPRESSBUILDER」DVDに収録されている各OSのインストレーションサプリメントガイドを参照して実施してください。

### システム情報のバックアップ

システムのセットアップが終了した後、オフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リス トア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

- 1. 3.5インチフロッピーディスクを用意する。
- ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照して、外付けフロッピーディスク ドライブをブレード収納ユニットに接続する。または、外付けフロッピーディスク ドライブをK410-150(00) SUVケーブルに接続する。

SUVケーブルへの接続については、71ページを参照してください。

 [EXPRESSBUILDER] DVDを本体装置の光ディスクドライブにセットして、再 起動する。

EXPRESSBUILDERから起動して「Boot Selection」メニューが表示されます。

- 4. [Tool menu (Normal mode)] [Japanese] [Maintenance Utility] を 選択する。
- 5. [システム情報の管理]から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

# 応用セットアップ

システムの環境やインストールしようとするオペレーティングシステムによっては、特殊な手順でセットアップしなければならない場合があります。

### シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラ を利用する場合

最新のRAIDコントローラなど、本装置に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに対応していな い大容量記憶装置コントローラが接続されたシステムにおいて、OSの再インストールなどを する場合は、次の手順でセットアップしてください。



1. セットアップしようとする大容量記憶装置コントローラの説明書を準備する。



 RAIDコントローラの場合は、コントローラの説明書に従ってRAIDシステムの設 定を行う。

RAID設定の不要な大容量記憶装置コントローラの場合は、手順3へ進んでください。

- 3. 「EXPRESSBUILDER」DVDからシステムを起動させる。
- 4. [EXPRESSBUILDERにドライバをロードする]を選択し、[次へ]をクリックする。

「ドライバのロード」画面で大容量記憶装置用OEM-DISKをセットして[実行する]を クリックする。



このオプションを選択することで、CD-ROMまたはフロッピーディスクで提供 されているドライバを読み込ませて、シームレスセットアップを進めることが できます。

- 5. 以下の設定でシームレスセットアップを実行する。
  - RAIDの設定画面が表示された場合は、[論理ディスクの作成をスキップする]
     をチェックする
  - アプリケーションの設定で[大容量記憶装置用OEM-Diskの適用]を追加する

このオプションを選択することで、フロッピーディスクで提供されているドラ
 イバを読み込ませて、シームレスセットアップを進めることができます。

6. シームレスセットアップの途中で [大容量記憶装置用ドライバ]をコピーする。

大容量記憶装置コントローラに添付されているCD-ROMまたはフロッピーディス クをセットし、以降は画面のメッセージに従って操作してください。

NEC	EXPRESSBUILDER
Step         RAIDの 構築         パーライジョン の作成/ m         コンピー フィーマット         コンピー         08/57/7 ヘの入の	
CD/DVDドライブ、またはまフロッピーディスクドライブへ、 「大容量記憶装置用OEM-Disk」をセットしてください。	
	Version 5.33-333 JI

### ローカルインストール

ローカルインストールについて説明します。

### Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

ローカルインストールでWindows Server 2003 x64 Editionsをインストールする方法につい ては、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Microsoft Windows Server 2003 R2 x64 Editionsインストレーションサプリメントガイド」を参照し てください。また、あらかじめEXPRESSBUILDERから、「OEM-Disk」を作成しておいてく ださい。



### Windows Server 2003の場合

本装置へのオペレーティングシステムのインストールは、シームレスセットアップを使用する ことをお勧めしていますが、特殊なインストールに対応する場合、ローカルインストールが必 要になることがあります。

シームレスセットアップを使わずにWindows Server 2003をインストールする方法について は、EXPRESSBUILDERに格納されているオンラインドキュメント「Microsoft Windows Server 2003 インストレーションサプリメントガイド」を参照してください。また、あらか じめEXPRESSBUILDERから「OEM-Disk」を作成しておいてください。





OEM-Diskとは?

シームレスセットアップを使わずに再セットアップするときの手順「ローカルイ ンストール」では、「Windows Server 2003 OEM-Disk for EXPRESSBUILDER」と 呼ばれるOEM-Diskが必要です。 「Windows Server 2003 OEM-Disk for EXPRESSBUILDER」には、Windows Server 2003のインストールで必要となるRAIDコントローラやSCSIコントローラのドラ イバなどが含まれています。 作成方法については、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンライン ドキュメント「Microsoft Windows Server 2003 インストレーションサプリメント ガイド」を参照してください。

### 論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順

再セットアップをはじめる前に、万一の場合に備えて必ずデータのバックアップを行ってくだ さい。

### 再セットアップ手順

- 1. 本書および「インストレーションサプリメントガイド」の手順に従ってローカルイ ンストールを開始する。
- 次のメッセージが表示されたら、OSをセットアップしたいパーティションを選択 する。

```
次の一覧には、このコンピュータ上の既存のパーティションと未使用の
領域が表示されています。
上下の方向キーを使って、一覧からパーティションを選択してください。
```



3. 本書および「インストレーションサプリメントガイド」の手順に従ってローカルイ ンストールを続行する。

以上で完了です。



### ドライブ文字の修正手順

以下の手順では、システムボリューム、またはブートボリュームのドライブ文字は変更できま せん。ご注意ください。

- スタートメニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、[管理]を選択して[コン ピュータの管理]を起動する。
- 2. 左側のウィンドウの中から、[ディスクの管理]を選択する。
- ドライブ文字を変更したいボリュームを選択して右クリックし、[ドライブ文字と パスの変更]を選択する。
- 4. [変更]をクリックする。
- [次のドライブ文字を割り当てる]をクリックし、割り当てたいドライブ文字を選択 する。
- 6. [OK]をクリックする。
- 7. 以下の確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

ポリュームのドライブ文字を変更すると、プログラムが動作しないことが あります。このドライブ文字を変更しますか?

8. [コンピュータの管理]を終了する。

以上で完了です。

# 再インストール (Linux)

Linuxを再インストールする手順について説明します。

### 注意事項

インストールを始める前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

### ● キー入力について

フロッピーディスクドライブ、光ディスクドライブのアクセスランプが消灯しているとき(フロッピーディスク、DVD-ROMへのアクセスがないとき)にキー入力をしてください。

### セットアップの手順(Linux)

Linuxをインストールする場合、「Express5800/Linuxインストール代行サービス説明書」を 参照してインストールしてください。

# 管理用リモートデスクトップについて

Windows Server 2003 x64 EditionsやWindows Server 2003をご使用の場合に必要な管理 用リモートデスクトップの設定について説明します。





カスタムインストールモデルをご購入の場合は、管理用リモートデスクトップの設定は必要ありません。

# Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

次の手順にしたがって設定をします。



- 1. スタートメニューから[コントロールパネル]を選び、[システム]をクリックする。
- 2. [リモート] タブを選択し、[リモートデスクトップ]項目の[このコンピュータにユー ザーがリモートで接続することを許可する] をチェック し、[OK] をクリックする。

## Windows Server 2003の場合

次の手順にしたがって設定をします。



- 1. スタートメニューから[コントロールパネル]を選び、[システム]をクリックする。
- [リモート] タブを選択し、[リモートデスクトップ]項目の[このコンピュータにユー ザーがリモートで接続することを許可する] をチェック し、[OK] をクリックする。

# FibreChannelコントローラ(N8403-018) ご使用時の注意事項

FibreChannelコントローラ(N8403-018)ご使用時の注意事項について説明します。

# Windows Server 2003 x64 Editionsの場合

システムに、FibreChannelコントローラ(N8403-018)を追加接続する場合、OSのプラグアン ドプレイ機能が動作しますが、ドライバは自動インストールされません。その場合にはシステ ムのアップデートを行ってください。システムのアップデートを行うとドライバが自動でイン ストールされます。

# Windows Server 2003の場合

システムに、FibreChannelコントローラ(N8403-018)を追加接続する場合、OSのプラグアン ドプレイ機能が動作しますが、ドライバは自動インストールされません。その場合にはシステ ムのアップデートを行ってください。システムのアップデートを行うとドライバが自動でイン ストールされます。 У Е